

國學院大學 北海道短期大学部 学報

発行所
國學院大學
北海道短期大学部
〒073-0014
北海道滝川市
文京町三丁目1番1号
TEL
0125-23-4111(代)

平成三十年度

入学式

—二百四十七名が入学—



誓詞を手渡す新入生代表

平成三十年度入学式(第三十七回)が、四月十日に本学体育館で挙行政され、本科二百四十四名、専攻科三名が入学しました。今年の入学者は、国文学科九十五名、総合教養学科九十二名、幼児・児童教育学科五十七名、専攻科福祉専攻三名で、このうち北海道外出身が六四・三パーセントの百五十七名となりました。

式典の中で田村学長は、新入生に対して國學院大學と北海道短期大学部が目指すもの「建学の精神」について紹介された後、「学が」ということについて①学ぶ姿勢②日本人の精神の原点③常に真剣に取り組み、怠りなく準備をする④学校を使いこなすことを学生たちに式辞として話されました。

続いて、来賓の滝川市長前田康吉様、父母会会長井上正恵様より祝辞をいただきました。

新入生を代表して、幼児・児童教育学科 児童教育コースの中島美貴さん(滝川西高等学校卒)が、「様々なことに挑戦し、高校生の頃から抱えている小学校教諭に一步でも近づけるよう努力を惜しまず勉学に励み、またサークル活動やボランティア活動などにも積極的に参加し二年間の短大生活を更に充実したものにしていきたい」と宣誓しました。

式典終了後には、本学幼児・児童教育学科田代雄一教授(児童教育コース主任)が、『日本の教育史 学校教育制度の変遷』と題して記念講演を行いました。

また、式典終了後、恒例となっている行事「ウェルカムパーティ」では、学生の一人暮らしのサポートをして下さる大家さんが中心となり、学生ホール(食堂)にてカレーが入学学生・教職員にふるまわれました。

新入生より



国文学科
邊原 理緒

私が國學院大學北海道短期大学部に入学して早五ヶ月が経ち、大学生生活にも滝川での一人暮らしにもようやく慣れてきました。四月に滝川の地に来たときは、知らない土地での新生活、それに加えて親元を離れての知らない土地での一人暮らしということもあり、最初は不安しかなかったですが、今ははたかさんの友達に恵まれ、困ったことがある際には互いに助け合い、とても楽しい大学生生活を送っています。

大学の授業は高校までとは違う九十分という長い時間であり、最初は戸惑いの方が大きかったですが、自分が学んだことが分業の講義であったり、今までは興味を持っていなかった分業の講義であったり、自分の中で様々な知識が積み重なっているように感じ、最初は長いと感じていた講義も、次第に早く感じるようになってきました。

また、自分が苦手だと思っていた分野の講義も、先生方の講義が丁寧で面白く、自分が好きな特定のジャンルだけでなく、他の様々なジャンルの事も学んでみたいと思います。



総合教養学科
内藤 由佳

短大に来てからの学校生活はとても充実しているおかげで、一日が秒で過ぎていきます。一人暮らしをしていての子が多いので、放課後は友達と一緒にご飯を作ったり、テストが近くなったら家で泊まり込みで勉強したりしています。入学する前は北海道で一人暮らしすることにに対して孤独感もありましたが、入学して五ヶ月が経った今、いつも一緒にいて支えてくれる友達ができただけでそれには感謝しています。短大には道外出身の人が多く、同じ境遇を持つ人が周りにたくさんいます。一人暮らしは戸惑うことがたくさんありますが、それを共有できる仲間が存在が大きなものであると感じることができました。

私は学生会に所属し、会長をしています。最初に次の会長を任せたいと言われた時は戸惑いましたが、人に頼つては引き受けました。今は指示を出す難しさを知って大変だと思ふ事もありますが、学生会一丸となって企画に取り組み成功させたいと思っています。



幼児・児童教育学科
幼児保育コース
繁泉ひより

気づいたら一人暮らしをして学生会長もやっている今、あっという間に過ぎて行く短大生活をリアルに充実させたいので、何事にも積極的にチャレンジしようと思います。



幼児・児童教育学科
児童教育コース
黒尾さゆみ

この大学に入学してから約五ヶ月が経ちました。新しい学校生活に少しの不安と期待を持ちながら過ごす毎日であつという間です。高校での勉強とは違い、保育士や幼稚園教諭として働くために必要な知識や技術を中心に学んでいます。それらを学んでいく中で将来子どもに関わる職場で働くことを強く意識することができ、今まで以上に真剣に将来のことについて考えるようになりました。

一コマ九十分という長く感じていた授業もようやく慣れ始め、少しずつですが難しい専門知識を身につけることができているように感じています。それは親身になってアドバイスや疑問に答えてくれる先生方や友人のおかげです。

八月に十二日間の保育所実習がありました。この大学に入学し初めての実習で、日誌の書き方から子どもたちとの関わり方まで何もかもが不安でした。しかし、実際に実習に行ってみると子どもたちの明るい笑顔や元気な声に私も頑張ろうと強く思うことができました。一コマ九十分という短い時間でも感じるようになりました。座学ではわからない保育の現場での先生方の声掛けや子ども達の発達、違いについて自分の目で見て学ぶことも良い機会となっています。

この短大で保育に関する知識以外にも多くのことを学び、今後の生活に生かしていきたいです。

先日起こった北海道胆振東部地震では、ここ滝川にも余震や停電などの被害があり、心細い中でも仲間と助け合ってなんとか乗り越えることができました。

いつか自分の人生を振り返った時に、北海道という自然豊かな地で最高な仲間たちと過ごした二年間はとても素敵な時間だったと思えるよう、様々なことに積極的に挑戦して、自分の強みにしていきたいです。

専攻科福祉専攻に入学してからの日々はあっという間に感じ「もう」五ヶ月も経過したということに驚いています。今年度専攻科に進学したのは三名しかおらず、初めは少し寂しい感じもしましたが、三人で一緒に昼食を取ったり、お互いに協力し合ったりしながら、コミュニケーションを深め目標に向けて頑張っています。



専攻科福祉専攻
梅津 里穂

介護支援の技術だけでなく、制度や法律、心身の仕組み等専門職として学ぶことがとても多く、内容も難しいです。毎日の講義や国家試験に向けて問題を解いていく中で「この用語はどのような意味なのか」「何故この選択肢は誤り

なのか」を考え、他の人に説明出来るように学習する姿勢が身につきました。なかなか知識や介護技術が身につかないことで、不甲斐ないと思ってしまうことも多々ありますが、仲間を支えられたり、自らを見つめ直したりしながら毎日の学習を頑張っています。七月には施設実習があり、利用者の方とのコミュニケーションの取り方や認知症の方とその人に応じた支援について学ぶことが出来ました。十月からは六週間の施設実習が始まります。これまでの実習や講義で得た学びや反省点をしっかりと踏まえながら実習に臨んでいきたいです。

平成三十年度 父母会支部総会

平成三十年度父母会支部総会が八月二十五日(土)本部のある道央第一支部及び道東第二支部(釧路)をかわきりに九月二十三日までの期間中に、北海道内七支部並びに北海道外二支部の合計九支部で行われた。父母会総会が、短大部の学校祭開催日の六月十七日(日)に行われ、予・決算及び基本方針の確認など承認・決定した事項及び会の動静・大学の現状について、各支部総会へ出席されたご父母の皆さんに報告された。支部総会後は、短大部から出席した教員とご父母とによる個



道央第1支部総会

人面談が行われた。このなかでは、学生の成績や出席状況、学内での生活ぶりなどについて状況提供が行われ、またご父母からは進路についての相談等がよせられ、学生の短大生活について理解を深められていた。

まちカレ開催!!

八月二十四・二十五日の二日間、本学内において、「第二十三回全国まちづくりカレッジin空知」が北海道で初めて開催されました。北は旭川大学(北海道)から南は西南学院大学(福岡県)まで、全二十一団体百三十名の参加がありました。

八月二十四・二十五日の二日間、本学内において、「第二十三回全国まちづくりカレッジin空知」が北海道で初めて開催されました。北は旭川大学(北海道)から南は西南学院大学(福岡県)まで、全二十一団体百三十名の参加がありました。



準備として伊勢で行われたまちカレに十名ほど参加し、このメンバーを中心に六十名の実行員会を結成し準備を行いました。二十四日には開会式と出席大学の情報交換を目的としたワークショップを開催、翌日は雨の中、舁井ゼミの引率のもと、滝川市内商店街、江部乙、砂川、赤平と中空知地区の四カ所に分かれフィールドワークを通して、舁井ゼミの活動内容を、空知の町づくりを理解してもらうことも、またその魅力について知ってもらうことができたと思います。

北海道胆振東部地震のお知らせ

平成三十年九月六日午前三時八分頃、北海道の道央地域を中心に広い範囲で強い地震がありました。

胆振管内厚真町で震度七を観測し、過去に経験したことのない地震被害となりました。

本学の所在する滝川は震度四と比較的揺れは少なく、校舎等の被害は一切ありませんでした。しかし、地震直後から続いた停電は、北海道全域に及ぶ大規模停電(ブラックアウト)となり、照明や固定電話、テレビ・コンピュータの使用は不可能となり、また、物流のストップ等生活に大きな混乱を及ぼす結果となりました。

このような状況のなか、前日から開始されていた集中講義を継続して実施することを決断しました。親元を離れて一人暮らしをする学生の割合が多い状況で、安全の確保と学生情報の把握を

優先したかったためです。不十分ながらホームページにて情報発信しましたが、保護者及び関係者の皆様には電話がつかない状況が少なくないなかで大変ご心配をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

優先したかったためです。

不十分ながらホームページにて情報発信しましたが、保護者及び関係者の皆様には電話がつかない状況が少なくないなかで大変ご心配をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

学生食堂もメニューを絞り昼食の提供をすることができ、学校で準備している非常食(カンパンや水)や、急遽購入したカップ麺を提供しました。

集中講義を受講していた学生は、心細い日々を過ごしたことを思いますが、事故もなく乗り切ることができたことに安堵し、支えていただいた皆様に感謝しております。

滝川地域は地震の影響が極めて少ない地域ですが、今回の地震を参考にして、学生の安全に配慮した学校運営に生かしたいと思えます。

準備として伊勢で行われたまちカレに十名ほど参加し、このメンバーを中心に六十名の実行員会を結成し準備を行いました。二十四日には開会式と出席大学の情報交換を目的としたワークショップを開催、翌日は雨の中、舁井ゼミの引率のもと、滝川市内商店街、江部乙、砂川、赤平と中空知地区の四カ所に分かれフィールドワークを通して、舁井ゼミの活動内容を、空知の町づくりを理解してもらうことも、またその魅力について知ってもらうことができたと思います。

平成三十一年度 入試について

平成三十一年度入学試験要項が確定しました。前年度からの変更点は以下のとおりです。

- ①国文学科が「AO入試」を新規導入します。
- ②「國學院大學との併願入試」第四期、「大学入試センター利用入試」第二期に繰上合格制度を導入します。
- ③「自己推薦入試」第五期、「併願型入試」第四期、「大学入試センター利用入試」第二期を除く入試の出願期間を消印有効に変更します。
- ④「特別指定校制学校推薦」の地方選考会場の北見、帯広を廃止します。代わりに受験の利便性をはかるために、第一期試験は午前と午後の受験時間を設定します。
- ⑤「自己推薦入試」第六期を廃止します。
- ⑥旧「社会人・帰国子女入試」を分離独立し、「社会人特別入試」とします。帰国子女は、既存の各種入試での受験対象となります。
- ⑦「ありす会特別入試」を二回から三回実施に変更します。
- ⑧「國學院大學との併願入試」第五期を廃止します。
- ⑨「大学入試センター利用入試」第三期を廃止します。
- ⑩「大学入試センター利用入試」の第二志望、第三志望を廃止します。

昨年度の入試実態に合わせ、大きく変更となりました。

入学試験日程・選考会場

入試方式				出願期間	選考日	合格発表日	入学手続期間	選考会場	
短期大学部の入試	豊かな地域創生人材養成奨学制度入試			平成30年10月29日(月)～11月9日(金)消印有効	平成30年11月17日(土)	平成30年11月26日(月)	平成30年11月27日(火)～12月5日(水)消印有効	本学	
	推薦入試	高等学校長推薦	特別指定校制学校推薦第Ⅰ期	平成30年10月29日(月)～11月9日(金)消印有効	平成30年11月17日(土)	平成30年11月26日(月)	平成30年11月27日(火)～12月5日(水)消印有効	本学 札幌	
			特別指定校制学校推薦第Ⅱ期	平成30年11月26日(月)～12月7日(金)消印有効	平成30年12月15日(土)	平成30年12月21日(金)	平成30年12月22日(土)～12月27日(木)消印有効	國學院大學(東京)	
			特別指定校制学校推薦第Ⅲ期	平成30年12月25日(火)～平成31年1月18日(金)消印有効	平成31年1月26日(土)	平成31年2月4日(月)	平成31年2月4日(月)～2月12日(火)消印有効	本学 國學院大學(東京)	
			指定校制学校推薦第Ⅰ期	平成30年10月29日(月)～11月9日(金)消印有効	平成30年11月17日(土)	平成30年11月26日(月)	平成30年11月27日(火)～12月5日(水)消印有効	本学 (書類審査)	
			指定校制学校推薦第Ⅱ期	平成30年12月25日(火)～平成31年1月18日(金)消印有効	平成31年1月26日(土)	平成31年2月4日(月)	平成31年2月4日(月)～2月12日(火)消印有効	本学 (書類審査)	
			公募制学校推薦	平成30年11月26日(月)～12月7日(金)消印有効	平成30年12月15日(土)	平成30年12月21日(金)	平成30年12月22日(土)～12月27日(木)消印有効	本学 國學院大學(東京)	
		自己推薦	自己推薦 第Ⅰ期	平成30年10月29日(月)～11月9日(金)消印有効	平成30年11月17日(土)	平成30年11月26日(月)	平成30年11月27日(火)～12月5日(水)消印有効	本学・札幌 國學院大學(東京)	
			自己推薦 第Ⅱ期	平成30年11月26日(月)～12月7日(金)消印有効	平成30年12月15日(土)	平成30年12月21日(金)	平成30年12月22日(土)～12月27日(木)消印有効	本学 國學院大學(東京)	
			自己推薦 第Ⅲ期	平成30年12月25日(火)～平成31年1月18日(金)消印有効	平成31年1月26日(土)	平成31年2月4日(月)	平成31年2月4日(月)～2月12日(火)消印有効	本学 國學院大學(東京)	
			自己推薦 第Ⅳ期	平成31年2月4日(月)～2月21日(木)消印有効	平成31年2月26日(火)	平成31年3月5日(火)	平成31年3月5日(火)～3月13日(水)消印有効	本学 國學院大學(東京)	
			自己推薦 第Ⅴ期	平成31年3月15日(金)～3月22日(金)願書必着	平成31年3月26日(火)	平成31年3月27日(水)	平成31年3月27日(水)～4月2日(火)書類必着	本学 國學院大學(東京)	
		日本語に関する基礎知識を問う入試			平成31年2月4日(月)～2月21日(木)消印有効	平成31年2月26日(火)	平成31年3月5日(火)	平成31年3月5日(火)～3月13日(水)消印有効	本学 國學院大學(東京)
	特別入試	社会人	社会人特別入試 第Ⅰ期 (社会人入学者奨学生第一種対応)	平成30年10月29日(月)～11月9日(金)消印有効	平成30年11月17日(土)	平成30年11月26日(月)	平成30年11月27日(火)～12月5日(水)消印有効	本学 札幌	
			社会人特別入試 第Ⅱ期 (社会人入学者奨学生第二種対応)	平成30年12月25日(火)～平成31年1月18日(金)消印有効	平成31年1月26日(土)	平成31年2月4日(月)	平成31年2月4日(月)～2月12日(火)消印有効	本学	
			社会人特別入試 第Ⅲ期 (社会人入学者奨学生第二種対応)	平成31年2月4日(月)～2月21日(木)消印有効	平成31年2月26日(火)	平成31年3月5日(火)	平成31年3月5日(火)～3月13日(水)消印有効	本学	
		ありす会	ありす会特別入試 第Ⅰ期	平成30年10月29日(月)～11月9日(金)消印有効	平成30年11月17日(土)	平成30年11月26日(月)	平成30年11月27日(火)～12月5日(水)消印有効	本学・札幌 國學院大學(東京)	
			ありす会特別入試 第Ⅱ期	平成30年12月25日(火)～平成31年1月18日(金)消印有効	平成31年1月26日(土)	平成31年2月4日(月)	平成31年2月4日(月)～2月12日(火)消印有効	本学 國學院大學(東京)	
			ありす会特別入試 第Ⅲ期	平成31年2月4日(月)～2月21日(木)消印有効	平成31年2月26日(火)	平成31年3月5日(火)	平成31年3月5日(火)～3月13日(水)消印有効	本学 國學院大學(東京)	
		法人傘下	法人傘下高校対象特別選抜入試 第Ⅰ期	平成30年10月29日(月)～11月9日(金)消印有効	平成30年11月17日(土)	平成30年11月26日(月)	平成30年11月27日(火)～12月5日(水)消印有効	國學院大學(東京)	
			法人傘下高校対象特別選抜入試 第Ⅱ期	平成30年11月26日(月)～12月7日(金)消印有効	平成30年12月15日(土)	平成30年12月21日(金)	平成30年12月22日(土)～12月27日(木)消印有効	國學院大學(東京)	
			法人傘下高校対象特別選抜入試 第Ⅲ期	平成30年12月25日(火)～平成31年1月18日(金)消印有効	平成31年1月26日(土)	平成31年2月4日(月)	平成31年2月4日(月)～2月12日(火)消印有効	國學院大學(東京)	
			法人傘下高校対象特別選抜入試 第Ⅳ期	平成31年2月4日(月)～2月21日(木)消印有効	平成31年2月26日(火)	平成31年3月5日(火)	平成31年3月5日(火)～3月13日(水)消印有効	國學院大學(東京)	
			法人傘下高校対象特別選抜入試 第Ⅴ期	平成31年3月15日(金)～3月22日(金)願書必着	平成31年3月26日(火)	平成31年3月27日(水)	平成31年3月27日(水)～4月2日(火)書類必着	國學院大學(東京)	
		入試方式	エントリー期間・面談日			出願期間	選考日	合格発表日	入学手続期間
	AO入試 第Ⅰ期 (奨学金対象)	P8をご確認下さい。			平成30年10月29日(月)～11月9日(金)消印有効	平成30年11月17日(土)	平成30年11月26日(月)	平成30年11月27日(火)～12月5日(水)消印有効	本学
	AO入試 第Ⅱ期 (奨学金対象外)				平成30年11月26日(月)～12月7日(金)消印有効	平成30年12月15日(土)	平成30年12月21日(金)	平成30年12月22日(土)～12月27日(木)消印有効	本学

入試方式			出願期間	選考日	合格発表日	入学手続期間	選考会場
國學院大學との併願型入試	併願型入試	併願型第Ⅰ期	平成30年10月29日(月)～11月9日(金)消印有効	平成30年11月17日(土)	平成30年11月26日(月)	平成30年11月27日(火)～12月5日(水)消印有効	本学 國學院大學(東京)
		併願型第Ⅱ期	平成30年11月26日(月)～12月7日(金)消印有効	平成30年12月15日(土)	平成30年12月21日(金)	平成30年12月22日(土)～12月27日(木)消印有効	本学 國學院大學(東京)
		併願型第Ⅲ期	平成31年2月4日(月)～2月21日(木)消印有効	國學院大學 平成31年度一般入学試験 A・B日程	平成31年3月5日(火)	平成31年3月5日(火)～3月13日(水)消印有効	—
		併願型第Ⅳ期	平成31年2月25日(月)～3月14日(木)願書必着		平成31年3月21日(木)	平成31年3月22日(金)～3月27日(水)書類必着	—
	大学入試センター試験利用入試第Ⅰ期		平成31年2月4日(月)～2月21日(木)消印有効	平成31年 1月19日(土)・20日(日) 大学入試センター試験	平成31年3月5日(火)	平成31年3月5日(火)～3月13日(水)消印有効	—
	大学入試センター試験利用入試第Ⅱ期		平成31年2月25日(月)～3月14日(木)願書必着		平成31年3月21日(木)	平成31年3月22日(金)～3月27日(水)書類必着	—

※「ワーキング・スカラシップ制度」、「経済援助奨学制度」を希望する者は、それぞれ対象となる入試制度を確認すること。

学生による授業評価アンケート結果(2017年度後期 本科生)

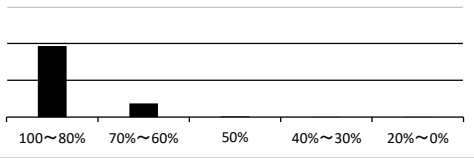
iyugyouhyouka

科目名 教員名	全体平均	開講コード 履修者数 回収数
		4662

所属学年	
1年	1792人
2年	1085人

所属学科	
国文学科	840人
総合教養学科	1088人
幼児保育コース	353人
児童教育コース	612人

授業出席率

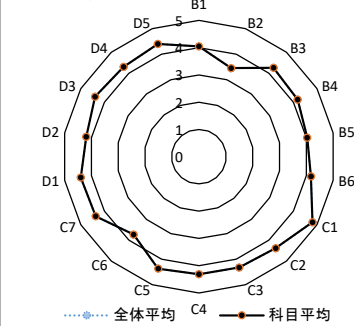


B(学習行動)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
1 予習&復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	4.03	1715	1822	719	239	119	1	4615	47
2 図書館やインターネットの情報を活用した学習を行いましたか?	3.50	1456	1418	803	301	283	387	4648	14
3 自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.23	2182	1699	555	123	70	28	4657	5
4 他の授業との関連やつながりに着目して理解した上で、授業を受けていましたか?	4.16	2077	1709	588	146	112	27	4659	3
5 ノービスを読んだ上で、授業に臨んでいましたか?	4.03	2122	1443	546	229	277	37	4654	8
6 授業以外の時間にノートや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.15	2208	1588	463	181	151	62	4654	8

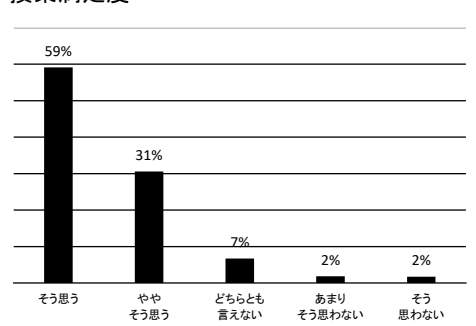
C(自己評価)	平均値	10~8割	7~6割	5割	4~3割	2~1割	該当 無し	有効 回答	無効 回答
1 この授業にどの程度出席しましたか?	4.82	3865	748	34	5	2	0	4654	8
2 この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.37	2403	1778	341	98	32	9	4661	1
3 受講態度は良かったですか?	4.31	2249	1793	465	110	35	9	4661	1
4 この授業を理解できましたか?	4.30	2303	1745	407	133	59	12	4659	3
5 この授業を履修して良かったですか?	4.36	2621	1426	372	133	77	22	4651	11
6 先生は授業内容を積極的に質問することがありましたか?	3.66	1611	1364	775	424	338	136	4648	14
7 この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.36	2486	1609	363	93	61	19	4631	31

D(授業評価)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
1 先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか?	4.39	2647	1479	333	110	72	12	4653	9
2 参考本・教材・ソフト等の配布が便利・IT機器などは効果的に使われましたか?	4.28	2588	1431	332	85	47	160	4643	19
3 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか?	4.37	2571	1514	383	124	51	12	4655	7
4 先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか?	4.30	2528	1429	433	115	112	36	4653	9
5 全体としてこの授業に満足できましたか?	4.42	2745	1419	312	85	80	13	4654	8

平均比較



授業満足度



授業アンケートと 授業改善への取り組み

今日、初等・中等教育のみならず高等教育においても授業改善の推進は喫緊の課題です。文部科学省においても「大学進学率の上昇や、高等学校における教育内容の多様化の増加も見込まれるなど、学生の興味・関心や履修歴といった大學生の質が様々な面において多様になってきています。また、他方で、大学には、時代の変化や社会の要請に適切に対応した教育研究活動を行うことが求められるようになっていきます。こうした中、各大学においては、教育の質の確保・向上のための様々な取組が進められていますが、急速な社会の変化に対応するためには、引き続き教

育内容・方法等の改善に積極的に取り組んでいくことが求められています。」と指摘しています。(文部科学省H19「大学における教育内容・方法等の改善について」)

このような中、本学においては、その具現化を目指し、各年度前・後期ごとに学生に対して授業アンケートを実施するとともに、教員は「授業改善計画書」を作成し、今日期待される高等教育機関における望ましい授業の在り方を追求してきています。また、本学においては、「大

学等の理念・目標や教育内容・方法等を改善するための組織的な研究・研修などの取り組み」(「大辞林」より)を一層進めるFD (Faculty development) の実践も積み重ねています。

授業アンケートは、本学が設置している「国文学科」「総合教養学科」「幼児・児童教育学科(幼児保育コース、児童教育コース)」に所属する学生を対象とし、履修するすべての授業についてアンケート形式により調査しています。

また、授業アンケートの内容

は「授業の出席率」を含め「学習行動」「自己評価」「授業評価」の三分野で構成し、それぞれの項目について五段階(注)で評価し、最終的に学生の「授業満足度」を明らかにするようにしています。

(注) 5 そう思う 4 ややそう思う 3 どちらともいえない 2 あまりそう思わない 1 そうおもわない

それでは、各調査内容項目ごとに見ていきます。

1 調査結果の概観すると……まず、「授業の出席率」についてです。

授業の出席率は、ほとんどの学生が80%以上ですが、70%以下、特に50%未満の学生がいますので、対象学生について日常のかつきめ細かで丁寧な指導は大切であるものと考えます。今後は、意図的・計画的な支援の在り方を明らかにして行く必要があります。

次に、「学習行動」について多くの学生が、予習・復習の実施、進路への配慮、他の授業との関連の理解、シラバスの読み込みなど積極的な授業への取り組みをしていることがうかがえます。各内容項目の平均値は4.0以上であり、学生の目的意識が高いことがわかります。

しかしながらインターネットや図書館の利用など「情報活用」を期待する項目においては平均値が3.50という低い値を示しており、学生の学修の仕方が消極的である状況が示されています。今後は学生にとって活用しやすい情報環境の一層の充実を図る必要があります。

次に、「自己評価」について

です。「自己評価」の平均値は4.0前後となっており、かなり高いレベルにあると考えられますが、「先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか」の項目では、3.66と他の項目に比べ著しく低い状況にあります。今後は、一人一人の学生が授業内容への疑問や学修課題の解決に向けより多くの発言する機会を設定するなど消極性の改善を目指す必要があるものと考えます。

2 期待される「授業改善計画書」とは……最後に、「授業評価」についてです。

各学生は、教師の話の明確さ、機器の効果的な活用、授業雰囲気、教員による生徒への働きかけ、授業満足度などすべての項目において期待以上であるとの意識である状況が、平均値4.0以上という結果に表れていると考えます。

また、「授業満足度」を見てみると、授業に対して「満足できる」「ほぼ満足できる」と回答した学生が90%となっています。このことは、これまでの授業改善に向けた着実な取り組みの成果と考えることができますが、10%の学生が「どちらともいえない」「やや不満」「不満」と回答していることから、毎年各期ごとに実施する授業アンケート結果を踏まえ、一人一人の授業担当が不断の授業改善に向けた具体的な内容を確実に実行していく必要があるものと考えます。

(FD委員会委員長 佐野博之)

学生による授業評価アンケート結果(2017年度後期 本科生)

科目名 教員名	総合教養学科	開講コード	履修者数 回収数
			1990

所属学年	1年	1430人
	2年	557人

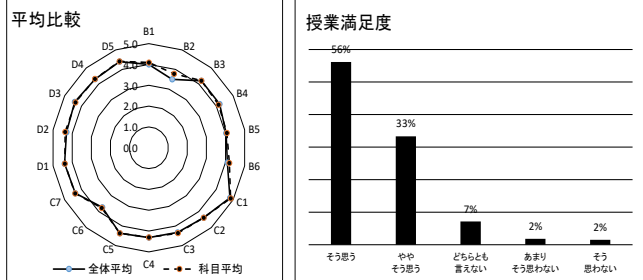
所属学科	国文学科	0人
	総合教養学科	1990人
	幼児保育コース	0人
	児童教育コース	0人

授業出席率

B(学習行動)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	有効 回答	無効 回答
1)予習&復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	4.09	754	850	262	72	38	13	1989
2)図書館やWebサイトの情報を活用した学習を行いましたか?	3.78	675	704	328	112	97	70	1986
3)自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.20	855	810	244	35	31	13	1988
4)他の授業との関連や科目に於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	4.13	804	813	264	55	42	11	1989
5)Webサイトを参考に、授業に臨んでいましたか?	4.07	876	675	243	97	84	13	1988
6)授業以外の時間にWebサイトや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.20	955	717	173	56	56	30	1987

C(自己評価)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	有効 回答	無効 回答
1この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.38	1015	791	132	36	14	2	1990
2受講態度は良かったですか?	4.36	997	772	183	22	15	1	1990
3この授業を理解できましたか?	4.30	966	762	177	57	23	3	1988
4この授業を履修して良かったですか?	4.37	1070	674	153	52	32	3	1984
5先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	3.77	725	626	311	140	118	64	1984
6この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.38	1029	718	165	36	26	4	1978

D(授業評価)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	有効 回答	無効 回答
1)先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか?	4.38	1068	700	143	47	27	1	1986
2)参考本・Web・TV等の配布資料・IT機器などは効果的に使われましたか?	4.37	1051	718	139	40	25	12	1985
3)授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか?	4.36	1019	730	167	54	15	1	1986
4)先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか?	4.31	1034	670	182	50	41	8	1985
5)全体としてこの授業に満足できましたか?	4.42	1114	661	142	36	30	2	1985



学生による授業評価アンケート結果(2017年度後期 本科生)

科目名 教員名	幼児・児童教育学科 児童教育コース	開講コード	履修者数 回収数
			772

所属学年	1年	458人
	2年	295人

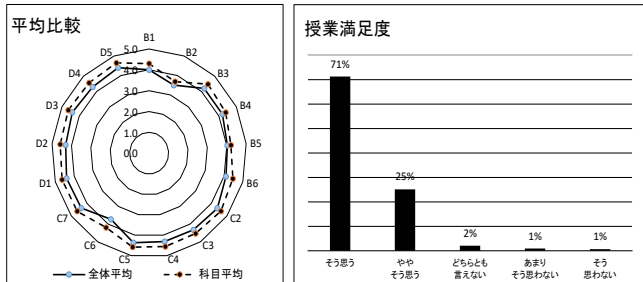
所属学科	国文学科	0人
	総合教養学科	0人
	幼児保育コース	0人
	児童教育コース	772人

授業出席率

B(学習行動)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	有効 回答	無効 回答
1)予習&復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	4.30	388	268	83	26	4	3	772
2)図書館やWebサイトの情報を活用した学習を行いましたか?	3.68	333	198	105	20	23	92	771
3)自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.48	454	257	46	9	6	0	772
4)他の授業との関連や科目に於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	4.39	408	280	65	8	10	0	771
5)Webサイトを参考に、授業に臨んでいましたか?	4.22	391	251	73	26	27	4	772
6)授業以外の時間にWebサイトや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.47	460	246	45	10	11	0	772

C(自己評価)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	有効 回答	無効 回答
1)この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.62	509	233	23	4	2	0	771
2)受講態度は良かったですか?	4.53	472	253	38	4	5	0	772
3)この授業を理解できましたか?	4.55	486	247	26	8	4	1	772
4)この授業を履修して良かったですか?	4.58	519	205	28	13	5	1	771
5)先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	4.20	392	230	67	59	16	5	769
6)この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.62	507	229	22	5	3	2	768

D (授業評価)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	有効 回答	無効 回答	
1先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか？	4.64	536	196	28	3	4	2	769	3
2参考本・Web・TV等の配布資料・IT機器などは効果的に使われましたか？	4.58	521	194	40	3	3	6	769	3
3授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか？	4.64	534	208	16	6	3	3	771	1
4先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか？	4.57	520	200	27	9	8	6	770	2
5全体としてこの授業に満足できましたか？	4.65	548	193	16	7	5	2	771	1



学生による授業評価アンケート結果(2017年度後期 本科生)

科目名 教員名	国文学科	開講コード	履修者数 回収数
			1371

所属学年	1年	845人
	2年	525人

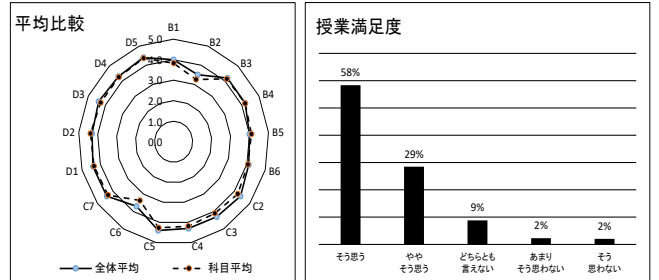
所属学科	国文学科	1371人
	総合教養学科	0人
	幼児保育コース	0人
	児童教育コース	0人

授業出席率

B(学習行動)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	有効 回答	無効 回答	
1)予習と復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	3.83	454	500	246	101	40	30	1371	0
2)図書館やWebサイトの情報を活用した学習を行いましたか?	3.26	373	371	249	123	77	171	1364	7
3)自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.14	633	435	204	62	24	11	1369	2
4)他の授業との関連や科目に於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	4.20	681	427	165	60	24	14	1367	4
5)Webサイトを参考に、授業に臨んでいましたか?	4.10	712	345	141	74	82	13	1367	4
6)授業以外の時間にWebサイトや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	4.05	635	416	162	83	41	31	1368	3

C(自己評価)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	有効 回答	無効 回答	
1この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.22	616	539	145	51	14	6	1371	0
2受講態度は良かったですか?	4.11	555	523	199	76	12	6	1371	0
3この授業を理解できましたか?	4.19	603	529	156	57	18	7	1370	1
4この授業を履修して良かったですか?	4.27	751	377	144	53	26	17	1368	3
5先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	3.37	371	359	280	169	128	61	1368	3
6この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.31	693	472	125	39	21	11	1361	10

D(授業評価)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	無効 回答	有効 回答	無効 回答
1)先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか？	4.35	788	386	114	45	26	8	1369	2
2)参考本・Web・TV等の配布資料・IT機器などは効果的に使われましたか？	4.38	817	373	110	26	14	27	1367	4
3)授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか？	4.28	742	386	151	58	25	7	1369	2
4)先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか？	4.26	754	372	155	37	30	21	1369	2
5)全体としての授業に満足できましたか？	4.37	794	388	120	31	28	8	1369	2



学生による授業評価アンケート結果(2017年度後期 本科生)

科目名 教員名	幼児・児童教育学科 幼児保育コース	開講コード	履修者数 回収数
			482

所属学年	1年	361人
	2年	110人

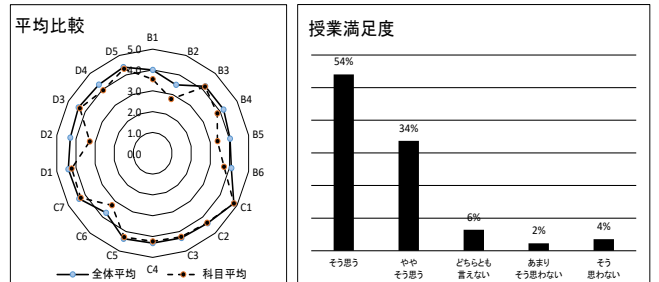
所属学科	国文学科	0人
	総合教養学科	0人
	幼児保育コース	482人
	児童教育コース	0人

授業出席率

B(学習行動)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	無効 回答	有効 回答	無効 回答
1)予習&復習をするなど授業に意欲的に取り組みましたか?	3.56	98	186	123	37	37	1	482	0
2)図書館やWebサイトの情報を活用した学習を行いましたか?	2.77	58	129	118	45	86	46	482	0
3)自身の進路に沿った学習や活動を行いましたか?	4.18	215	178	59	16	9	4	481	1
4)他の授業との関連や科目に於ける位置づけを理解した上で、授業を受けていましたか?	3.83	160	173	89	22	35	2	481	1
5)Webサイトを参考に、授業に臨んでいましたか?	3.37	117	157	85	31	83	7	480	2
6)授業以外の時間にWebサイトや友人同士で話し合ったりすることはありましたか?	3.72	131	194	80	32	42	1	480	2

C(自己評価)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	有効 回答	無効 回答	
1この授業に意欲的に取り組みましたか?	4.35	233	200	39	7	2	1	482	0
2受講態度は良かったですか?	4.27	198	230	40	8	3	2	481	1
3この授業を理解できましたか?	4.23	217	196	46	9	13	1	482	0
4この授業を履修して良かったですか?	4.28	252	154	46	14	14	1	481	1
5先生に授業内容を積極的に質問することがありましたか?	3.26	100	135	112	53	75	5	480	2
6この授業を通じて、あなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか?	4.27	229	178	46	13	11	2	478	3

D(授業評価)	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう 思わない	無効 回答	有効 回答	無効 回答
1)先生の話や指示は明確で聞き取りやすかったですか？	4.22	225	183	45	15	13	1	482	0
2)参考本・Web・TV等の配布資料・IT機器などは効果的に使われましたか？	3.28	173	128	41	16	5	112	475	0
3)授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか？	4.32	242	178	47	8	8	1	482	0
4)先生は学生に発言や積極的な参加を促していましたか？	3.96	186	176	68	18	33	1	482	0
5)全体としてこの授業に満足できましたか？	4.32	260	162	31	11	17	1	482	0



新任挨拶



幼児・児童教育学科
助教 菅原 健太

本年四月に國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科幼保コースの助教として着任いたしました菅原と申します。國學院大學出身というわけではありませんが、大学院時代の先輩が以前こちらに勤務されていたということもあり、不思議な縁を感じております。

これまででは、とある短大の保育者養成の通信課程を担当する傍ら、大学、専門学校等の非常勤講師として教育学と社会学を中心に担当しておりました。このような経験をもとに前述ある本学学生と関わらせていただくことは、大変光栄なことであり、同時に私自身もまた、さまざまなことを学生から教わる立場になるであろう喜びを感じております。

私は二人の子どもがおります。育児については「おはようからおやすみまで」(厳密に言えば、洗濯物を畳むなど子どもが寝た後にもやることはありますが)を一人でできるくらいには鍛えられてきましたが、アマチュアであることに変わりはありません。これまで保育所にお世話になる中で、現場の保育士による子どもとの関わり方など、優れた専門性を見てきました。だから、保育者養成における私の基準は「自分の子どもを預けたいと思う学生」であり、それは一つの目標でもあります。よろしくお願いたします。



学生支援センター
佐藤 久美

平成二十八年度國學院大學北海道短期大学部の国文科を卒業し、國學院大學文学部日本文学科へ編入学いたしました。三月に卒業後、短大部へ入職し学生支援課に配属となりました。短大部では「日本霊異記の本文校訂」編入学後は「玉響の訓読」をテーマに卒業論文を書き上げました。

あり、國學院大學へ編入学するまでの二十二年間北海道で生活をしたことはありませんでした。東京ではこのままここで生活するのも悪くないかもしれないと思いましたが、やはり故郷の北海道が恋しく道内で就職活動を行い続けていました。故郷の北海道で尚且つ在籍していた短大部から内定を頂き、働いていることに私自身が一番驚いていると同時に大変嬉しく思っています。

学生時代とは違う緊張感の中で気を引き締めていかなければならないと考えています。学生との年齢も近いので、短大部での限られた二年間を学生が満足

第37回 ありす祭開催

六月十六日(土)・十七日(日)、二日間に開催された第三十七回ありす祭りのテーマは「祭りは短し、騒げよ國短」でした。

短大での二年間は短く、二年生が中心となる学生会の企画としては、大変準備期間も少ないことから、短期間で楽しい思い出作りをすることがテーマとなりました。

学生達に喜んでもらえることはもちろんのこと、私たちがお世話になっている近隣の方たちが楽しんでもらえる企画を行いました。

開会式では、昨年度も出演して頂きました「IZANA I北海道」による、場内の学生達と一緒にパフォーマンスを行いました。

準備期間を含めて、少ない期間の中ではありましたが、学生会のメンバーの協力を得て、無事に修了することができました。

開催・運営するうえで、各団体や地域の方たちの協力があった開催させて頂きましたことをこの場を借りて感謝申し上げます。

(学生会 総合教養学科二年 吉田 敏生)



サークル紹介 書道部

私たち國學院大學北海道短期大学部書道サークルは平成二十九年に設立したばかりのサークルです。書道サークルは一年生五人、二年生十八人の合計二十三名で週三日、書道室で楽しく練習を行っています。

活動内容は書道経験者をはじめとする筆に慣れた人は、競書大会に向けて作品制作をし、教職課程の人は板書の練習を行い、筆に慣れていない人は書写や硬筆の練習からはじめ、各自目標や目的は異なりますが、楽しく活動を行っています。これらの作品は國學院大學北海道短期大学部の講師である瀧野喜星先生に指導をしていただいております。

また一年間の集大成として國學院大學北海道短期大学部が主催する「はる展」に出品をしています。「はる展」では作品制作や展示を自ら行っており、地域の皆様の印象に残るような作品の展示をすることを目標に取り

